

8ブロックリーグ(リハウスリーグ)と大田区リーグ(U12リーグ)について

2022/3/26

日本サッカー協会は、育成のため、長期にわたる能力別リーグ戦の創出が必要と考えています。
この考えのもと、2015年から8ブロックリーグ(リハウスリーグ)が開始されました。
それまでは、8ブロックの大会は、トーナメント形式が主流でした。

大田区サッカー協会は、ずっと以前から、大田区少年サッカーリーグを行ってきました。

リハウスリーグが始まり、リハウスリーグと大田区リーグの共存方法を模索してきました。

- ・大田区には、8ブロックに所属しないチームが多数ある。
- ・日程的に、両リーグを同じチームで対応するのは難しい。
- ・東京都の大会とつながるので、リハウスリーグを優先するチームが多い。
- ・一部の選手は試合をする機会が増えるが、試合に出れない選手も増える。

以上のことから、以下のルールを決めました。

- ・主としてリハウスリーグに出場した選手は、大田区リーグには出さない。
- ・大田区U12リーグは、6年・5年を対象にしたリーグにする。

大田区U12リーグには、

8ブロックに所属していないチームは、6年を中心とした選手が出場しています。

8ブロックに所属していて、6年生が多数いるチームは、Aがリハウス、Bが大田区U12と分けています。

そうでないチームは、6年中心にリハウスリーグ、5年を中心は大田区U12としているようです。

大田クラブは、基本的に6年生はリハウスリーグに帯同させます。

リハウスリーグに出場する機会が少ない選手は、大田区U12リーグに出場させることもあります。

基本的に5年生を中心に、大田区U12リーグに出場します。

5年生で確実にリハウスリーグで中心として出場している選手は、大田区U12リーグに出場させないこともあります。